

インテグリティ遵守について

一般社団法人佐賀県バスケットボール協会 U12 部会
【文責】 U12 部会 渡瀬恭平

当協会の活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

JBAが「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム」を提唱し、暴力暴言の根絶に取り組んできていることは皆様方にも周知されていることと存じます。

佐賀県U12部会においても、各大会前の抽選会時にインテグリティ研修を実施しているところですが、残念ながらコーチ等の不適切な言動による不祥事がまだまだ続いています。研修を受けるだけでなく、そのことをチーム運営に反映させて初めてその趣旨が実現するものです。

ここでは、改めてその目的や対応について共有していきます。

◆目的

ユニセフ「子どもの権利とスポーツの原則」に基づき、指導者そしてJBAとしての方向性を「JBA バスケットボールファミリー安心安全保護宣言」として明確にすることにより、子どもたちが楽しく、安心して、安全にバスケットボールに打ち込めるよう、暴力や暴言、ハラスメントのない健全なバスケットボール環境を実現する。

◆背景・経緯

スポーツには、それそのものを楽しむことによって子どもたちの健全な心身を発展させ豊かな人間性を涵養する力があること、また、フェアプレーやリスペクトの精神を推進していくことによって社会を守る力、よりよい社会をつくる力があることに大きな価値があるものの、現状では、スポーツ活動における暴力・暴言、ハラスメント行為は後を絶たず、子どもたちからスポーツの楽しさや心身の健やかな成長の機会を奪っていることが、各種調査等により明らかになっている。

そこで、下記7項目を「JBA バスケットボールファミリー安心安全保護宣言」として採択し、JBA としての方針を明確にするとともに、今後関係各所と連携して状況の改善に努める。

◆「JBA バスケットボールファミリー安心安全保護宣言」7項目

1. 「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム」暴力暴言を根絶します。【暴力暴言根絶】
2. リスペクト・フェアプレーの精神を推進します。【リスペクト・フェアプレー精神】
3. 子どもの意見・発言を尊重し主体性を育みます。【子どもの主体性尊重】

4. コーチライセンス制度を充実・普及させ、良い指導者を養成・配置します。【指導者の資質向上】
5. 子どもの成長のために保護者と連携します。【保護者との連携】
6. 子どもの安心安全なバスケットボール環境を整備します。【セーフガーディング】
7. 年齢・性別・障がい・人種等で差別のないバスケットボールファミリーを目指します。【差別をなくす】

※自チーム及び自らを振り返ってみましょう。

以下に挙げるものをチェックしてみてください。

(チーム運営について)

- ・チームに運営規約又はそれに代わるものがある。
- ・チームの会計は独立して存在する。
- ・会計処理は適切に行われ、会計報告が必ずある。
- ・チーム運営役員は、会員の意見をくみ取り適切に業務を執行している。
- ・定期的に総会が行われ、自由に意見交換が行われている。
- ・コーチと保護者とは適切な関係を保っている。その関係は偏っていない。
コーチは保護者の意見に耳を傾け、保護者はコートの声に協力してその課題をクリアされていますか？

(コーチングについて)

- ・練習時間は、開始時間・一回の練習時間ともにU12として適切なものである。
終日練習など行っていませんか？U12の選手は発達途上であり、過度な練習時間は、心身共に成長を妨げる要因になります。
- ・練習メニューはコーチの監督の元、U12として適切なものである。
- ・勝つことを第1に考えた指導ではなく、学び育てることを考えた指導ですか？
〇〇さんにパス出しちゃダメ・・・そんなことはないはずですよ。
- ・プレーヤーとコーチの会話を積極的にできるようなチーム作りですか？
体調不良や怪我をしているプレーヤーが、「休ませてください」と申し出たとき、気持ちの問題だから・・・などと発言していませんか？練習に参加するだけで大きな成長ですし、コーチに話せることも意思表示ができる成長だと思います。
- ・プレーヤーの練習中のミスや、試合中のミスに対し大声で叱責したりしていませんか？
練習中には、その原因がどこにあるかプレーヤーのみんなです話し解決しましょう。試合中は、練習の成果を発揮する場所です。しっかり見守りプレイができる環境を作っていきましょう。
是非、保護者の方と協力し適切なチームマネジメントをお願いします。
- ・選手の個性を把握されていますか？
ここ数年、学校内で生活支援が必要な小学生が増加傾向にあることは報道のとおりです。その中で、バスケットボールが好きで入部されているプレーヤーがいる現状があり
指導に悩まれることも多いかと思えます。
思うように意図が伝わらないこともあると思いますが、焦らず感情的ならず、進めていきましょう。

【最後に】

チーム関係者の皆様のご苦勞には、心から敬意を表します。

ですが、前段でも書かせていただきましたが、残念ながら佐賀県内ではいまだに、プレイヤーを理不尽な理由（コーチの都合）で練習から外したり、感情的になりすぎて過度な発言を行ったりしている場面が見受けられます。また、一部の保護者、チーム関係者の方々からも勝ちにこだわりすぎて不適切な発言があるのも事実です。

各チームの保護者の方、指導者の方は対等な対場でチーム作りを規約に沿って行っていただき、是非プレイヤーの皆さんが輝ける場所を作っていただくようお願いいたします。